

妙見川筋河川災害関連事業 令和7年 9月末現在

• 事業箇所位置図

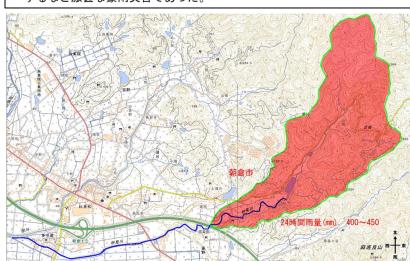


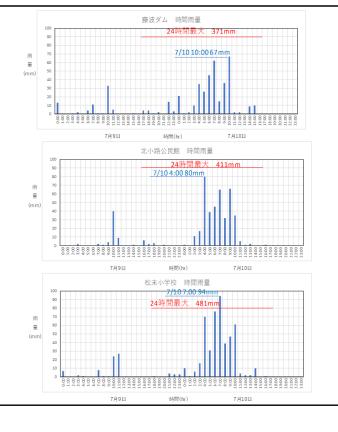
妙見川位置図



・雨の状況

- 妙見川に近接する雨量観測所は『北小路公民館』であり、1時間雨量で 80mm、24時間雨量約411mmと非常に激しい降雨となった。
- この降雨は7時間程度に集中しており、その降雨量は419mm程度であり、他の地域に比べて最も強い降雨強度であった。
- この異常な自然現象による当該河川の被災は、現地において河床低下に よる護岸崩壊の被害や、最大で河岸高の8割程度以上の洪水痕跡を確認 するなど激甚な豪雨災害であった。





• 事業概要工程表

【妙見川】

																עע	ישלי	112																						
作業項目	詳細	R5年度									R6年度									R7年度										R8年度										
		4	6		8	10		12	1	3	4		6	8		10	12	2 1		3 4	1	6		8	10)	12	1		3 .	4	6		8	1	0	12	1		3
改良復旧事業検討	概略設計																																							
河道(護岸)設計	詳細設計																																							
河床低下対策工設計	詳細設計		-																																					
河川災害関連工事																																								

• 被災状況





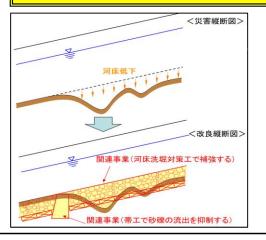




・ 整備イメージ

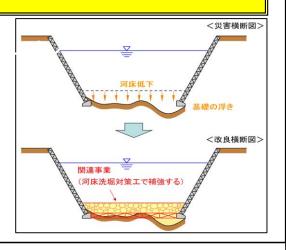
《効果》

- ・帯工、護岸工を設置し、河床の低下を防止し、河床の安定化を図る
- ・河床の粗度向上により、高速流の派生を抑制する



急流区間である当該被災区間 は、高流速の影響で掃流力が 大きくなり、河床低下および 局所洗堀による護岸崩壊が生 じている。

河床洗堀対策工(根固めブロック+砂礫埋戻し)により補強するとともに、砂礫床による粗度の増大を図り、高速流の発生を抑制する。また、帯工による砂礫の流出を抑制し、再度災害を防止する。



・事業の進捗状況

